

2年 普通科、国際探求学科の「探究応用」「国際探求応用」の取組

1. 概要

SR科は学校設定科目「理数探究応用」において探究活動を行い、生徒研究発表会に取り組んできた。この活動を普通科、国際探求学科にも広め、全校的に探究活動を行うため、平成23年度から「総合的な学習(探究)の時間」において課題研究を実施してきた。その一環として令和4年度より学校設定教科「小田高リサーチ」の学校設定科目「探究応用」、「国際探求」の「国際探求応用」として取り組んでいる。その中で、自ら設定した課題について調査研究することで、課題発見能力、情報収集能力、問題解決能力、論理的思考力、プレゼンテーション能力の育成を目指している。ここで培った能力や態度は、将来大きな課題に立ち向かう場面に役立つと考えられる。

2. 仮説

本校が設定する「現代の諸問題に主体的に関わることができる人材の育成を目指す」という課題に対して、普通科、国際探求学科の生徒にも「探究応用」の時間を設けて探究学習に取り組ませ、課題発見、調査、まとめ、発表の一連のサイクルに挑戦させることで、課題についての成果を得ることができると推測する。

3. 経緯と状況

本年度は2年生の普通科に11名、普通科看護医療・健康類型に2名、国際探求学科に3名とALT3名の、合計19名の教員が担当した。どの学科・類型も、昨年度の反省も踏まえながら指導することで、より深く探究活動を行うことができ、発表も内容も全体的により良いものとなった。評価については、学校設定教科として取り組んでいるので評価は文章表記ではなく、数値での評価を行っている。ルーブリックは昨年度のものを一部改訂しながら使用した。評価に用いたルーブリックは別紙を参照。

年間計画	普通科文系・理系	国際探求学科	普通科特色類型
1学期前半	探究	探究テーマ設定	探究の方法・基礎
1学期後半	講座に分かれ個人の探究活動・班編成	文献検討&小テーマ設定	班をつくり話し合い
2学期前半	班活動	ワークショップ、アンケート、インタビュー実施	班での探究活動
2学期後半	班活動と発表用ポスター作成と発表	調査内容の整理&考察	
3学期	班活動とポスター作成	発表会に向けて	発表会に向けて
成果発表会 (抜粋)			1/24(土) 探究応用報告会(口頭発表)
	1/31(土) SSH 小田高リサーチ生徒研究発表会(SR科15班・普通科43班・国探7班・類型12班 全班ポスター発表・代表5班口頭発表)		
	2/2(月) 尼崎でつながる地域の活動報告会 (SR科1班・普通科1班・国探1班・類型2班 口頭発表・ブースセッション)		
		12/21(日) 甲南大学リサーチフェスタ 2025 1班ポスター発表 1/24(土) 神戸市外国語大学の学生とポスター発表交流会	1/31(土)・3/1(日) 在宅療養ワークショップにて発表 3/18(水) 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科「研究交流会」にて発表、 3/20(木) 兵庫医科大学「HMU High School Awards 2025」にて発表

4. 事業の内容

普通科は水曜日3,4時間目の2単位、国際探求学科は水曜日7時間目の1単位で実施した。普通科看護医療・健康類型は月曜日2時間目と木曜日の1限目の2単位で実施した。普通科(158人・43テーマ)について、ポスター発表の際に、関連するSDGsのアイコンを掲示した。

令和7年度「探究応用」のSDGsによるテーマ分類(延べ件数)

[1 貧困] 0件	[2 飢餓] 8件	[3 保健] 18件	[4 教育] 6件	[5 ジェンダー] 4件	[6 水・衛生] 0件	[7 エネルギー] 0件	[8 経済成長と雇用] 6件	[9 産業・産業化・イノベーション] 2件
[10 不平等] 3件	[11 持続可能な都市] 8件	[12 持続可能な消費と生産] 4件	[13 気候変動] 1件	[14 海洋資源] 0件	[15 陸上資源] 0件	[16 平和] 2件	[17 パートナリシップ] 0件	

5. 事業の効果とその評価

生徒達への事後アンケートでは、発表をしてよかったと答える生徒が90%、他の人の発表を聞いてよかったと答えた生徒が96%、聞いてもらってよかったと答えた生徒が92%、質問に答えられたと答えた生徒が84%であった。昨年度に引き続き、生徒の満足度が高い発表会を行うことができた。発表会後の生徒の自由記述にも「色んな方が見に来てくださっていたので、色んな視点の感想を聞くことができたし、質問もこんな考え方があったのか!など新たな発見もできました。」等のコメントがあり、他の科や類型の同級生と共に発表したい、一般の方や下級生、学校外部の方に向けても発表をしたことで、よい刺激を得ることができた。